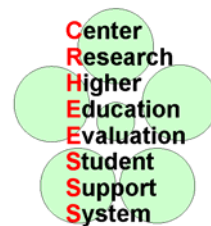


週刊センターニュース No.118



第118号(2006年7月17日) 毎週月曜日発行
発行: 金沢大学 大学教育開発・支援センター
URL: http://www.kanazawa-u.ac.jp/faculty/daikyou_rche/index.htm

○●○ 共同学習会のご案内 ○●○

日時: 第123回 日時: 7月20日(木) 16:30~18:00

場所: 角間キャンパス総合教育棟2階大会議室

テーマ: シンポジウム「世界に通用する理系基礎教育」参加報告

発表者: 西山 宣昭(大学教育開発・支援センター)

内容: 大学教育学会理系基礎教育研究委員会の研究報告会として開催された表記シンポジウムの内容を報告する。理系基礎科目についての国内他大学およびアメリカ州立大学の取組を紹介する。

○●○ 文部科学省委託調査<先導的大学改革推進委託>「教員の所属組織」の 進捗状況に関する文部科学省との意見交換 ○●○

平成18年6月30日(金)、東京都千代田区三田の三田共用会議所にて、「『先導的大学改革推進委託』調査研究協力者会議」が開催されました。

本調査研究協力者会議開催の趣旨は、「先導的大学改革推進委託」事業に関わる調査研究内容について、各委託先担当者による中間報告・結果報告や質疑応答、外部有識者との意見交換を行い、今後の調査研究に資する有意義な情報交換の場とする目的を持つことにあるとされています。

本調査研究協力者会議における調査研究テーマと報告者は、次の通りです。

教員組織	荒井 克弘(東北大学)
教養教育	川嶋太津夫(神戸大学)
校地・校舎	藍澤 宏(東京工業大学)
図書館	永田 治樹(筑波大学)
メディアを利用して行う授業・通信教育のあり方	高綱 博文(日本大学)
教員の所属組織	早田 幸政(金沢大学)

「有識者」枠の出席者は、いずれも中央教育審議会大学分科会の委員で、以下のメンバーです。

荻上 紘一	(大学評価・学位授与機構教授)
黒田 壽二	(金沢工業大学学園長・総長)
雀部 博之	(千歳科学技術大学長)
館 昭	(桜美林大学大学院教授)
永田眞三郎	(関西大学教授)
光田 好孝	(東京大学教授)
吉田 文	(メディア教育開発センター教授)

文部科学省からの出席者は、以下の通りです。

中岡 司	(文部科学省高等教育局大学振興課長)
鈴木 敏之	(文部科学省高等教育局高等教育企画課高等教育政策室長)
大西 啓介	(文部科学省高等教育局大学振興課大学設置室長)
伊藤 学司	(文部科学省高等教育局大学振興課大学改革推進室長)

会議では、報告者よりテーマ毎に報告がなされ、それらの報告を巡って、有識者との間で、白熱した論議が展開されました。

早田は、「教員の所属組織」に係る調査研究の進捗状況の概要を述べた上で、先に行った全国調査のアンケート（大学分）の分析を簡潔に行い、併せて、本調査研究の本年の調査研究計画についての説明を行いました。早田からの報告に対し、有識者の1人より、今回のアンケート調査の結果を踏まえ、「講座/学科目制」に対する評価と今後の採否の方向性について、とりわけ「医歯系大学・学部」の対応を調査研究の過程で明らかにしてほしい旨の要望がなされました。概して、本学として受託した調査研究の進め方に対する有識者の評価は、概ね良好との印象を受けました。

なお、本委託調査は、上記の6大学全てについて、本年度継続される見通しである旨の説明が、文部科学省担当者よりなされました。(文責：評価システム研究部門 早田 幸政)

○●○「学習・研究環境改善のための学生生活調査」調査項目についての意見募集○●○

当センター教育支援システム研究部門の学生支援プロジェクトでは、標記「調査」の項目見直しの作業に入ります。すでに各関連専門委員会等に検討依頼を行っていますが、教職員の方々からの積極的なご意見をいただきたいと考えます。<○○について改善をすべきと考えるが、その議論の前提となる学生のニーズを具体的には把握したい>といった、現場での改善提案に資するような調査にするため、ご協力をお願いします。締め切りは今月21日(金)です。本年4月に全教職員向けに配布しました『学習・研究環境改善のための学生生活調査報告書2005年』、および調査分析結果に基づく提案を掲載した当「センターニュース」第93号・第99号等をご覧の上、調査項目についての具体的なご意見をお寄せください。なお、標記「調査」の実施時期は本年10月を予定しております。

(文責：教育支援システム研究部門 青野 透)

○●○「前期角間ランチョンセミナー」終了 ○●○

平成18年度前期の「ランチョンセミナー」は、先週金曜日をもちまして、全ての日程を無事に終えることができました。4月11日より毎日開催し、64回のセミナーと2回のコンサートを開催しました。今年度は、IT教育推進プログラムの協力を得て、ランチョンセミナーのライブ配信の試みも行いました。テーマ企画に快く応じていただきました各部局の方々、そして何よりさまざまなテーマのもと、実際に担当して下さいました教職員・および学生の方々に対し、心から感謝申し上げます。後期の角間ランチョンセミナーは、随時開催の予定です。今後とも宜しくお願い致します。

○●○ センターからのお願い ○●○

センターニュースで取り上げてほしいテーマを募集します。また、センターニュースを読んでのご感想や、当センターへのご要望などをメールにてお寄せください。

さらにセンターでは、共同学習会の話題提供、ランチョンセミナー担当も随時募集しておりますのでご連絡ください。info-rche@ge.kanazawa-u.ac.jp までお願いいたします。